「飯島町こども計画」(案) に対する 町民の意見提出手続(パブリックコメント)の実施結果について

1 募集方法等

町ホームページなどを通じて、令和7年1月20日(月)から令和7年2月8日(土)までの20日間、町民の意見提出手続(パブリックコメント)を実施しました。

2 提出のあった意見等1件(1人)

3 意見の内容

※記載のページは、パブリックコメント実施時の計画案のページです。

該当箇所	ご意見
55ページ	意見
4 学童期か	「社会的知性」を身に付ける取り組みについての追加を提案します。
ら思春期(中	【理由】
学生) におけ	社会的知性とは、人との関係や社会的状況を理解し、適切に対応すること
る支援	により、他者からの「信頼」が得られる能力です。この能力は、次のような
	スキルを指し、家庭や学校、職場などで重要な役割を果たします。
	・共感力:人の思考を読み、感情や視点を理解し、共感する能力
	・コミュニケーション能力:効果的に情報を伝え、人と円滑にコミュニケー
	ションを取る能力
	・対人関係スキル:人との関係を築き、持続する能力
	・社会的認知力:社会的な状況や文脈を理解し、適切に行動する能力
	・自己制御力:感情や行動を適切にコントロールし、社会的な規範に従う能
	力 このような能力を中学生までに身に付けられるよう取り組みが進められ
	ることを希望します。

59ページ

息

2 障がい児等への支援

意見1

「障がい児」という表現を「特別なニーズのある子ども」に改めることを 提案します。

【理由】

「障がい」を持つ人々、その家族、支援者などの中には、この言葉が持つ 否定的なニュアンスや社会的な偏見を感じることがあるため、表現に配慮す ることが大切だと考えます。

意見2

「ギフテッド教育」に関する方針の追加を提案します。

【理由】

特定の分野で非常に高い能力や才能を持つ子どもや、特異な才能と学習困難とを併せ持つ子どもは、その才能や認知・発達の特性上から、学習上・学校生活上の困難を抱えることがあると指摘されています。残念ながら、日本において、このような子どもを念頭においた支援の取組はほとんどないのが現状です。

- ・個々の特性を把握する評価方法
- ・特性を包み込む授業の在り方
- ・特性に応じた教育方法

について、最新研究を参考に進められることを希望します。

4 町の考え方

1 「社会的知性」を身に付ける取り組みについての追加を提案します。

社会的知性を身につけることは、個人が社会の中で効果的にコミュニケーションを取り、他者 との良好な関係を築くために非常に重要です。特に、急速に変化する現代社会では、社会的知性 が求められる場面が増えてきており、子どもたちが早い段階で社会的知性を身につけることは、 個人の成長だけでなく、より良い社会の構築にも寄与します。そのため、学校教育においても積 極的な取組みが進められています。

具体的な施策としては、地域社会との連携や交流については、P56 多様な体験の推進やP61からの基本目標3 1地域全体でこども・若者、子育てを支える環境づくり の中でいくつかの方針及び事業を掲載しておりますので改めての追加はいたしませんが、引き続き取り組んでまいります。

2 「障がい児」という表現を「特別なニーズのある子ども」に改めることを提案します。

基本目標2 「多様な境遇にあるこども・子育て家庭への支援」の「多様な境遇にあるこども」を「特別なニーズのある子ども」ととらえております。その中に「貧困、障がい児、虐待、ひとり親家庭等への支援」を基本施策としております。「障がい児」という表現につきましては、上位

計画である国の「こども大綱」の中でも「障害児支援・医療的ケア児等への支援」、県の「長野県子ども・若者支援総合計画」では「障がいのある子どもの支援」、「第三期長野県子ども・子育て支援事業支援計画」では「障がい児施策の充実」という表記をしておりますので、上位計画を勘案したこの計画の中では、この表記のままとさせていただきます。また、長野県や当町では「障害児」を「障がい児」と表記しております。

3 「ギフテッド教育」に関する方針の追加を提案します。

近年、ギフテッド教育は特に注目を集めており、才能や能力が特に優れた子どもたちに対する教育的支援が求められています。ギフテッド教育の目的は、これらの子どもたちが持つ潜在能力を最大限に引き出し、社会で活躍できる人材へと成長させることです。そのためには、個々の特性やニーズに応じた柔軟な教育プログラムの提供が不可欠ですが、日本の現状は、欧米やアジアの一部の国々と比較してギフテッド教育の取り組みは遅れていると言われており、まだまだ制度的な整備が十分に進んでおらず、教師の研修や教材の充実も課題となっています。今回のこども計画には、具体的な方針の追加はいたしませんが、今後、国や地方自治体が連携し、ギフテッド教育に関する研究や政策を検討し、制度化と専門的な教育の普及が進んでいくことが重要と考えております。